



「大学のまち京都」への留学生誘致 フランス友好都市との連携による日仏大学間交流

京都府国際課

世界一の「観光のまち」から 世界一の「大学のまち」へ

今年、明治150年、そして京都府が設置されてから150年です。千年にわたって都として栄えた京都は、明治維新により東京に全てが移され、存亡の危機に直面する中で、人づくりを中心に据えた未来への投資を行い、日本で最初の小学校、女学校、さらには盲ろう学校を次々と開校させました。

こうした取り組みにより、京都は観光都市であると同時に、優れた研究機関が集まる大学のまち・学生のまちでもあり、世界中から優秀な研究者や学生をも惹きつけています。

そうした京都の大学を海外の大学関係者や学生に紹介し、さらに多くの留学生を京都に呼び込むべく、2016年3月、京都府はフランスに職員を派遣し、調査を行いました。

フランス・オクシタニ州への訪問

フランスは、日本語学習者数が欧州諸国の中では最多であり、学生の日本への関心が高い国でもあります。また今回の訪問に際しては、京都府と友好提携関係にある南仏の旧ラングドック・ルシヨン州（現在はミディ・ピレネー州と合併し、オクシタニ州）から全面的な協力を得ることができ、同州内の教育機関との会談のアポ取りやアテンド等、あらゆる面でサポートしていただきました。こうした事情はフランスで京都留学PRを進めるに当たって非常に心強い後押しとなりました。

3月14日に京都府の訪問チームはトゥールーズ市にある同州庁舎を訪れ、トゥールーズ第1大学、トゥールーズ国立高等応用科学学校、アルビ国立高等鉱業学校、その他多くの大学関係者らと意見交換を行いました。また、翌15日には同州のモンペリエ市においてモンペリエ・スパグロ、モンペリエ・ポールヴァレリ大学等の

複数の教育機関を訪問して京都の大学をPRし、今後の留学生交流について意見交換を行いました。



モンペリエ・ポールヴァレリ大学での意見交換

これらの意見交換を通じて、フランスの大学側からは京都の大学との連携や留学生交換について高い関心が示される一方、日本留学に際しては言語と留学費用の問題がネックになっていて思うように学生の送り出しが進んでいないとの課題も直接聞くことができました。

パリおよびオルレアンへの訪問

16日から18日は首都圏の大学へも京都留学をPRすべく、クレアパリ事務所の協力の下、パリとオルレアンでの現地調査を行いました。両都市には、パリ第7大学、国立東洋言語文化

研究所 (INALCO)、パリ国立高等美術学校、オルレアン大学等、特徴的かつ高い学術レベルを誇る教育機関が多数揃っています。各訪問先の大学においては、いずれの担当者も京都府による京都留学の魅力についての説明に熱心に耳を傾けており、京都との交流について積極的な意見が聞かれました。



フランス人 CIR ボナミ・アリス氏による京都留学PRのプレゼン（オルレアン大学にて）



パリ国立高等美術学校

このフランス現地調査を通じて強く感じたことは、京都は観光都市としてはフランスにおいても有名だが、「大学のまち京都」としてはまだほとんど学生には認識されていないということです。その反面、京都の各大学の高い学術レベルはフランスの大学関係者の間でも認識されているということも分かりました。「大学のまち京都」の知名度を広めつつ、日本語や留学費用といった障壁をいかに解消して京都に留学生を呼び込むのか、今後取り組むべき大きな課題ができました。

フランス大学関係者等の来日

現地訪問を終えた2016年春以降、早くもその成果が実り始めました。フランスで会談した大学関係者から次々と京都府にコンタクトがあり、是非京都の大学を訪問して交流を深めたいとの要望がありました。

2016年に京都府を訪問したフランスの大学関係者

◆5月 トゥールーズ第1大学 国際交流担当副学長 訪問先：京都大学、同志社大学
◆7月 パリ国立高等美術学校 教授 訪問先：京都精華大学
◆10月 モンペリエ大学 国際交流担当副学長 訪問先：京都大学、京都府立医科大学、同志社大学、立命館大学
◆12月 オクシタニ州政府訪問団（11の仏側大学が同行） 訪問先：京都大学、京都工芸繊維大学、京都府立医科大学、京都産業大学、同志社大学、立命館大学

これらフランスの大学からの依頼により、京都府は、府内大学との意見交換のためのアポ取りや当日のアテンド等、日仏大学間交流に係るお手伝いをさせていただきました。いずれの訪問においても日仏大学間の有意義な意見交換を実施でき、その後いくつかの大学においては学術交流協定等の締結に向け、より具体的な議論が現在も続いています。

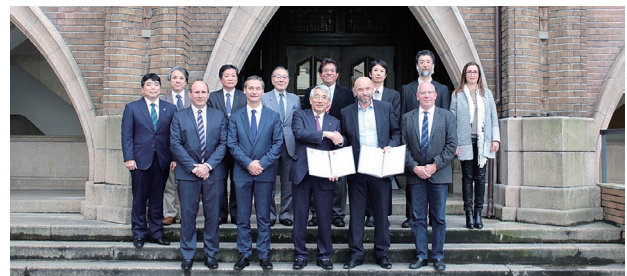
12月には、オクシタニ州側の合併（ラングドック・ピレネー州とミディ・ピレネー州が合併）に伴い、友好提携の再締結等を行うべく、同州から訪問団が来日しました。そして、京都府議会の本会議場にて、府議会で初めて友好提携州のトップがスピーチを行いました。同訪問団には州内の11の教育機関が同行して京都を訪れ、府内の複数の大学との意見交換を行いました。またその際、これまでの大学間交流の成果が実を結び、同州のモンペリエ大学と京都府立医科大学が学術交流協定の調印を執り行うに至りました。



京都府とオクシタニ州との交流提携協定書の締結式
カロール・デルガ州議長（左）および山田啓二京都府知事（右）



カロール・デルガ州議長によるスピーチ（京都府議会本会議場）



京都府立医科大学とモンペリエ大学の学術交流協定締結

今後の展開

引き続きオクシタニ州とは観光、文化、経済交流や学術研究、留学生等人材交流を進めていくこととしています。これまで同州の大学と交流のなかった府内のある大学が、京都府の取り組みがきっかけで教員を同州に派遣するに至るなど、着実に新たな連携が生まれつつあるのは大変喜ばしいことです。

京都府においても、これまでの交流でつながりのできたフランスの大学関係者等に対して定期的に京都留学情報を発信し、また逆に京都留学に関する問合せに答えるなど、フランスからの留学生の呼び込みに向けた取り組みを継続しています。

今後も友好提携州のオクシタニ州、フランスの各教育機関、そしてクレアパリ事務所等の協力を得ながら、フランスにおける留学生誘致を強化していきたいと考えています。